



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.45

地域連携病院④「医療法人 清和会 協立病院」

今回は、徳島市八万町にある医療法人清和会協立病院をご紹介します。

■地域に根ざした医療を



上田 美弥(うえた みや)
理事長



吉嶋 淳生(よします なお)
病院長

協立病院は「地域住民の健康を支え、安心・信頼される病院であり続けます」を理念として掲げ、一般病床のほか、回復期リハビリテーション病床、医療療養病床を有し、地域住民のニーズに即した病床を完備しています。また、高齢化の進む徳島において、外来受診患者さんを対象とした無料送迎サービス(予約制)を実施しており、地域の多くの患者さんに利用され、喜ばれています。

協立病院では、地域の包括的医療の観点により、近隣の医院・クリニックとの連携にも力を入れ、CTやMRIなどの検査依頼に応えるとともに、定期的な情報交換会を行い、顔の見える関係作りに努めてきました。

徳島大学病院との連携は、術後のリハビリ、長期療養の患者さんやターミナルケア・緩和ケアの患者さんの受け入れなどを幅広く担っています。また、回復期の患者さんにおいては、リハビリの状況・回復状態や退院後の療養先について徳島大学病院患者支援センターへフィードバックの報告を続け、連

携の強化を図っています。

■よりよい地域医療を目指して



今年5月に、協立病院は新病院へ移転しました。新病院は、安心・安全な医療提供ができる病院として、耐震性の高い構造としており、自然災害時においても住民の避難所となり得る機能を備えています。さらに院内施設充実のため、カフェテラス等を完備し、情報発信のための勉強会や交流会ができる会議室もあります。病院敷地内には桜の木や芝桜が植えられており、地域の憩いの場としても



さくらカフェ(1F売店奥)の様子

親しまれています。来年、協立病院は50周年の節目を迎えます。地域住民にとって身近で相談しやすい病院として、さらなる医療体制の充実、地域との連携強化や、患者さんのための取り組みなどの情報発信に努めていきたいとお話いただきました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

医療法人 清和会
協立病院

徳島県徳島市八万町寺山
13番地2

TEL.088-668-1070(代表)
088-668-1082(連携室直通)
FAX.088-667-1578(連携室直通)

■説明は
中村 康弘(なかむら やすひろ)
地域連携室課長

